第 191 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)

A. 日時：2008 年 12 月 9 日(火) 15:00～17:00

B. 場所：東京 日本交通協会

C. 出席者(順不同，敬称略)：

委員長： 穂積(愛工大)

委　員： 伊藤(日本ガイシ)，渡辺(日立電線)，岡本(東芝・清水委員代理，新潟大・加藤委員代理)，田中祀(早稲田大)，池田(新日本石油精製)

幹　事： 田中康(武蔵工大)，内田(中部電力)

幹事補： 岡下(昭和電線)，高橋俊(電中研)(記)

以上計 10 名

D. 提出資料

番号なし 第 190 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案) 幹事団

191-1 誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿 幹事団

191-2 第 78 回 A 部門研究調査運営委員会 報告 高橋俊幹事補

191-3 解散報告書(ナノコンポジット調査専門委員会，屋外用ポリマー調査専門委員会)および設置趣意書(案)(PEA 法調査専門委員会 高橋俊幹事補

191-4 電気学会 高分子材料と放射線の相互作用評価技術調査専門委員会 第 7 回議事録 田中康幹事

191-5 第 2 回 絶縁診断に基づく電力機器のアセットマネジメント 調査専門委員会議事録 池田委員

191-6 第 3 回，第 4 回，第 5 回 有機薄膜および複合膜のナノ界面物性とデバイス・センサ応用調査専門委員会 議事録 岡本氏

191-7 電気学会 屋外用ポリマー絶縁材料の表面機能と長期性能調査専門委員会 第 9 回，第 10 回 議事録(案) 高橋俊幹事補

191-8 平成 20 年度 誘電・材料研究会，技術委員会，その他行事予定(2 次案)，平成 21 年度 誘電・材料研究会，技術委員会，その他行事予定(0 次案) 幹事団

191-9 調査専門委員会フォローシート(2008 年度計画) 幹事団

191-10 若手セミナーおよび絶縁材料シンポについて 高橋俊幹事補

191-11 平成 21 年度 家田賞，矢作賞の推薦募集について 内田幹事

E.議事内容

1. 議事録の確認，承認

高橋俊幹事補より第 190 回誘電・絶縁材料技術委員会議事録(案)の報告があり，承認された。

2. 名簿確認

資料 191-1 が確認された。渡辺委員の FAX 番号，池田委員の所属を修正することとした。また，2 号委員については委員会の開催期日にあわせて修正するとともに，他に修正事項等

あれば，岡下幹事補まで各自連絡することとした。

3. 第 78 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会 報告

資料 191-2 に基づき，高橋俊幹事補より報告された。ISEIM2008 特集号に係る編修活性化資金の申請については，編修委員である渡辺委員より編集委員会に付議していただくこととした。

4. 各種調査専門委員会 議事録について

資料 191-3～191-7 が紹介された。ナノコンポジット調査専門委員会については，次期委員会の設立を調整中であることが田中祀委員より紹介された。

5. 平成 20 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(1 次案)

資料 191-8 に基づき，田中康幹事より説明があり，以下の事項が確認された。

・2 月の研究会，2 月 19 日に電気学会会議室にて開催する旨報告された。

・3 月の研究会，国際会議報告として，ISEIM2008(穂積委員長)，CMD2008(電中研宮嵜氏)，CEIDP(村上先生)，ISE(田中康幹事)，CIGRE(長尾先生)，IEC，ISEI(東芝・今井氏)をノミネートした。

・平成 21 年 5 月の見学会，見学先をメールにて募集するとともに，技術委員会も併催する方向で検討することとした。

6. 調査専門委員会フォローシート(2008 年度計画)

資料 191-9 に基づき，田中康幹事より説明があり，以下の事項が確認された。

・「イオンマイグレーション・・・」調査専門委員会はフォーラムを開催済みである。

・「電力機器絶縁診断・・・」調査専門委員会は東京支部講習会を開催済みである。

・「環境対応材料・・・」調査専門委員会は技術報告書を発刊したことが報告された。

・その他，各委員会の活動状況，活動予定が確認された。

・田中祀委員より，技術報告を作成する際，研究会を開催し，報告書原稿を研究会資料として報告・議論する，レビュー制を敷いて委員相互で査読するなどの工夫が紹介された。

7. 若手セミナーおよび絶縁材料シンポについて

資料 191-10 に基づき，高橋俊幹事補より若手セミナーおよび絶縁材料シンポの開催について提案がなされ，以下の議論があった。

・幹事団からの会場設定(地方と東京の隔年開催，2009 年は松江にて開催)は満場一致で合意された。

・2009 年 9 月 10 日，11 日は A 部門大会の会期と重なる。

・会期を①8 月下旬，②7 月 30 日～8 月 1 日，③9 月 3 日～5 日の優先順位で会場と再交渉していただくよう，松江高専・福間先生に依頼することとした。なお，会期は幹事団に一任することとした。

・若手セミナーや絶縁材料シンポにて，外国人研究者による講演も検討してはいかがか。

・各賞受賞者による講演も検討すべき。

・若手セミナーについては，幹事団より 1 号委員を中心にアンケートを採り，今後の運営に生かすこととした。

8. 家田賞，矢作賞の推薦募集について

資料

191-11 に基づき，内田幹事よりお知らせがなされ，以下の議論があった。

・矢作賞の受賞者も講演頂くこととしてはどうか。この為に，規約の変更も進めるべき。

・内田幹事にて規約の変更案を作成することとした。

F. 次回委員会

研究会の日程とあわせ，2009 年 3 月 24 日の午前中に開催する方向で調整することとした。

以上